

こども園評価

和泊町立大城こども園

<自己評価一覧>

A=十分あてはまる B=あてはまる C=ややあてはまる D=あてはまらない

I 教育・保育内容

内容	評価
1 保育の計画 ○ 園の教育・保育理念や教育方針を明文化している。 ○ 園の教育，全体的な計画が自園の保育理念に基づき，保育指針（教育要領）の精神を踏まえて構成されている。 ○ 乳幼児の生活が豊かになるような行事を，乳幼児の実態に合わせて精選している。 ○ 園の教育，保育方針は社会状況や幼児の実態，地域性などを考慮しながら必要に応じて見直しを行っている。 ○ 指導計画の評価を定期的に行い，その結果に基づいて指導計画の見直しを行っている。 ○ 個々の行事について，幼児の発達を考えながら実施し，子供の実態やねらい等について保育者と十分に話し合い見直しを行っている。	A
評価記入欄 ・0～5歳児までの集団の場合なので，行事への参加は年齢に必ずしも適しているとは言えないが，年齢に応じて参加の仕方について検討するなど，その都度見直しを行っている。 ・園の教育・保育理念や教育方針を明文化し，全体的な計画の元，保育を行っている。 ・行事については，幼児の発達や実態に合わせて精選し，保育者と話し合いを持ち，見直しを行いながら次へ活かしている。	
2 職員体制の充実 ○ 職員が園の教育，保育理念や教育，保育方針を共通理解するための取り組みを行っている。 ○ 指導計画が乳幼児の実態に即したものになっているかを把握し，指導助言できる体制がある。 ○ 個々の乳幼児について職員が話し合う場を定期的かつ必要に応じてもつことができるような体制がある。 ○ 職員間で互いの保育について話し合い，評価・反省をして次の保育に活かすことができるような体制がある。	A
評価記入欄 ・毎月の指導案を提出してもらい，添削することで，各年齢ごとの取り組みや計画を共有している。 ・クラス毎に毎月園内研修を行い，反省及び次の保育計画ができるようにしている。 ・園の教育・保育理念の元，年齢毎に指導計画を作成し，指導助言の元，見直しを行える体制がある。 ・定期的に職員会を持ち，個々の乳幼児についてや，保育について話し合い，評価・反省をして，次の保育に活かしている。	
3 保育環境の構成 ○ 乳幼児が安全で心地よく過ごすことができる環境を整えている。 ○ 乳幼児がそれぞれの興味や関心，能力に応じて，全身を使って活動することができる	

環境を整えている。 ○ 乳幼児を温かく受け入れる環境や関心、能力に応じて、全身を使って活動することができる環境を整えている。 ○ 乳幼児が様々な活動や体験をするのに適切な環境を整えている。 ○ 乳幼児が身近な自然や社会と関わることをでききるように配慮する。 ○ 幼児が言葉で伝えたいような体験をもつことができる環境を整え、伝え合う喜びを味わったり、言葉に対する感覚が養われたりするように配慮している。 ○ 乳幼児が生活の中で美しいものや心を動かす出来事に触れられるような環境を工夫している。 ○ 幼児が様々な表現を楽しみ、表現する意欲を十分発揮させることができるような環境を整えている。	A
評価記入欄 ・毎月、安全点検を行い、その都度補修してもらい、安全に過ごせるようにしている。 ・天気の良い日には、園周辺や字内に散歩へ出かけ、豊かな自然や地域の方々、身近な小動物に触れ合える機会を設けることができている。 ・園庭の整備を行ったり、年齢毎に活用できる様々な遊具を設置したりしている。 ・日常の保育活動や、その他の行事等を経験することで、乳幼児が表現を楽しんだり、友達との関わりの中で、思いを言葉で伝えたり、様々な気持ちや意欲を育むことができるようにしている。	
4 研修や研究 ○ 園内研修などを企画し、研修の内容が日々の保育に活かせられるようにしている。 ○ 職員の資質向上のために、公的な機関などが開催する研修会に参加する機会を確保している。 ○ 自園のテーマや重点項目等を決め、継続的に研究を行っている。	A
評価記入欄 ・各クラス別に園内研修を行い、クラス運営や全体運営に活かすことができている。 ・テーマを決め、年間を通して各年齢毎に取り組むことができている。 ・職員の資質向上の為に、研修会に参加する機会を持ち、保育に活かせるようにしている。	

Ⅱ 地域の子育て支援センターとしての役割

内 容	評価
1 未就園児に対する支援 ○ 未就園児が園に遊びに来られるよう園庭開放をしている。 ○ 保護者の子育ての相談を受けたりするなど、地域の子育てのための取り組みを行っている。	A
評価記入欄 ・園庭開放を行っているが、年間に2・3名の利用者のみである。 ・保護者からの相談は、担任保育士と相談後、解決できないことについては共通理解を図りながら園全体で行っている。	
2 保育相談機能 ○ 在園児の保護者からの保育に関する相談を受けている。 ○ 児童相談所や医療機関・専門機関に相談や連携ができるよう体制が整っている。	A

評価記入欄 ・保護者からの相談は勿論の事、町の巡回療育相談や療育施設など、いつでも相談や連携ができるような体制がしっかりできている。 ・在園児の保護者からの相談はいつでも受け入れており、その都度回答している。	
---	--

Ⅲ 安全管理

内 容	評価
1 外部侵入者・来訪者等に対する安全対策 ○ こども園の施設・設備を安全で適切な状態にしている。 ○ 防犯計画に基づき、ハード・ソフト両面から適切な防犯体制を整えている。	B
評価記入欄 ・不審者対応の避難訓練を行い、全職員が共通理解の元、こども達の安全に努めている。 ・園周り、外部からの侵入が簡単にできてしまう為、防犯に対する体制の難しさがある。 ・出入口が数か所あり、ハード面に於いて、まだ工夫が必要だと思われるが、ソフト面に於いては、体制を整えることができている。	
2 施設・設備・園児に対する安全対策 ○ 地震などの自然災害に対する防犯対策が整っている。 ○ 遊具等の安全管理に努めている。 ○ 施設及び設備等の衛生管理に努めている。 ○ 消防職員の立ち入り検査を行っている。 ○ 消防法第8条により防火管理者を定めて防火管理を行っている。 ○ 消防用設備等の設備・維持により、消防用設備等を設置し維持している。	A
評価記入欄 ・年2回の消防立ち入り避難訓練及び、毎月の避難訓練、安全点検を行い、安全対策に努めている。また、職員全員が、消火器を使用しての消火訓練を行っている。 ・地震、火災を交互に行い、年に1度は津波の訓練も実施している。 ・防犯対策、安全管理、衛生管理に努めている。 ・消防立ち入り検査の実施、防火管理、消防用設備設置、維持を行っている。	
3 衛生に対する安全管理 ○ 園児の健康診断を実施している。 ○ 職員の健康診断を実施している。 ○ 伝染病発生に対応することができる。(出席停止) ○ 嘱託医を置いている。	A
・年2回の内科健診、年1回の歯科検診と、嘱託医による健康診断を実施し、職員は人間ドッグ及び年1回の健康診断を実施している。 ・伝染病の発生に対しては、「登園のめやす」を配布、全保護者が見てわかるように発生状況をボードに記す、コドモンで発信するなどの工夫をしている。	